

業務の新聞

第81号 2021年 7月 7日

本部大会 開催！ 1

7月5日、JR 東日本労働組合第10回定期大会が開催されました。

私たちは、会社発足以来はじめての“赤字”という現実を突きつけられています。会社経営陣は「変革2027のスピードアップ」を『決意と実行の1年』の“最大・最強のツール”として多くの施策を今までにないスピードで展開しています。

定期大会では、労働組合として組合員・家族の利益を守り拡大するために「雇用と生活の安定を実現」するためにJR 東日本の『黒字化』を実現することを確認しました。

春闘・夏ボーナスのたたかいを基礎に、私たちの労働・労働力の価値に対する正当な対価を要求してたたかい続けます、組織の強化・拡大はもとより会社施策に対するチェック・検証の実践が急務となります。

本部大会 開催！ 2

第10回大会における代議員の発言では、**会社施策に“歪”が出ている、会社施策に対するチェック・検証が大切だ、エルダー社員の労働条件・労働環境の向上しよう、コロナ禍でも業務量は増加している、施策説明会で質問に答えてもらえない、赤字だからで全てを抑えようとしている、退職記念乗車券の使用期限の延長を、社員を歯車としか考えていないように感じる、転居を伴う異動を会社はどのように考えているのか、エルダー社員の労働条件の向上を、アンケートの声をしっかり返していく…。**多くの仲間たちが改善を求めています、しっかりと取り組み、歩を進めましょう！

ご自愛ください。

新型コロナウイルスに対するワクチンの“職域接種”も始まり居住区接種や大規模接種によってワクチン接種者数は右肩上がりに増加しています。新型コロナウイルスに対抗する“最強のアイテム”が日本で、世界でその力を遺憾なく発揮することを切に願っています。

ワクチン接種に際しては、接種のタイミング、接種箇所、副作用などに関する『声』が地本にも寄せられています。関係機関や会社と連携を取りながら最善の取り扱いを模索していきます。皆さんには職場において管理者に率直な疑問や不安を話していただくことを要請します。

誰もが初めての経験の中で新型コロナウイルスとたたかっています。会社危機管理本部の指示に職場の実情を加味して、このたたかいに勝利しなければなりません。皆さんの経験や知恵を大いに発揮してください。

思いつくままに

『コロナとたたかい』『赤字とたたかい』『職場現実とたたかい』…。私たちは“たたかい”の中にあつて気の休まる間もない感じですね。

「柔軟な働き方」の職場説明会で？を何点か話させて頂きました。残念ながら？への答えを頂くことは出来ませんでした。担当の方は“資料の説明するように言われただけなので”と質問がされることや質問の応えることは“想定外”だったと言っていました。

偉い方々はこれで施策が社員に周知している！と言うのですから『伝える』『コミュニケーション』には気を付けなければならないと強く感じました。考え行動しましょう！